

平成22年 教育委員会第3回定例会 秘密会 会議録

日 時 平成22年2月23日（火） 午後4時25分～午後4時39分
場 所 神田一橋中学校 会議室

議事日程

第2 協議

【副参事（特命担当）】

（1）千代田区共育マスタープラン（案）【政策形成過程終了につき、公開】

出席委員 （4名）

教育委員長	市川 正
教育委員長職務代理者	堀口 雅子
教育委員	古川 紀子
教育長	山崎 芳明

欠席委員 （1名）

教育委員	福澤 武
------	------

出席職員 （8名）

こども・教育部長	立川 資久
特命担当部長（次世代育成担当）	保科 彰吾
参事（こども健康担当）	大井 照
こども総務課長	峯岸 邦夫
副参事（特命担当）	門口 昌史
育成・指導課長	坂 光司
こども支援課長	関 成雄
こども施設課長	佐藤 尚久

欠席職員 （1名）

児童・家庭支援センター所長	吉野 紀子
---------------	-------

書記 （2名）

総務係長	小宮 三雄
総務係員	成畑 晴代

市川委員長

それでは、再開いたします。

ただいまから平成22年教育委員会第3回定例会秘密会を開会します。

◎日程第2 協議

副参事（特命担当）

（1）千代田区共育マスタープラン（案）

市川委員長 日程第2のうちの協議、千代田区の共育マスタープラン（案）につきまして、副参事から説明をしてください。

副参事（特命担当） はい。私から説明申し上げます。資料のほうは共育マスタープランの案と、あと、先ほどこちよっと机上に配付させていただきました1枚の、「変更について」というものでございます。

それでは、ご説明のほうを申し上げます。

前回お示ししました案から、議論をいただきました内容を踏まえて変更してございます。

前回いただきましたご意見につきまして、簡単にご紹介いたします。

前回ご議論いただいた中では、隣近所の声のかけ合いが少なくなっているのではないかなというようなご意見とか、マンションに住んでいない場合もある。補助を出して人口を増やすべきではないかといったご意見、また、階層の固定化により、親の経済力に格差があり、参加をあきらめてしまうようなことがあるのは問題ではないかなというようなこと。また、親子のコミュニケーションを確保することがかかせないことだと思うので、それに対して、実証的な研究をぜひ行っていただきたいというようなご意見。また、一人っ子が多いので、団体生活も重要ではないかというようなご意見もいただいております。また、価値観がいろいろ変わってきて、お金だけではということではなくて、道徳が大事ではないかというようなご意見もいただきました。また、女性が働くことはすばらしいことで、だけれども、親子一緒の時間がやはり必要だと。親子一緒の時間を確保するため、その質を大事にしていかなければいけないのではないかなというようなご意見をいただきました。

その中で、変更させていただいたものがございます。それについては、こちらのペーパー1枚に書いてございますけれども、本文と一緒に見ながら、お願いしたいと思います。

まず、一番最初のところでございますけれども、変更点といたしまして、1ページ目でございますけれども、マスタープランの位置づけという形で文章だけでございましたけど、具体的な図解をのせました。

共育マスタープラン、千代田区の基本構想・基本計画に基づきまして、共育マスタープランという形をつくっておりますけれども、次世代育成行動計画、保健福祉総合計画と整合性を図っていくというような形の図解をさせていただいたところでございます。

続きまして、2ページ目から5ページ目のところに、千代田区の次世代育成や教育をめぐる現状・成果・課題というところでございます。これにつきまして、ご議論いただいた内容を踏まえて、少し書き込みをふやさせていた

だいております。

まず、2ページ目のところに、次世代育成や健康をめぐる現状と課題というところがございますが、そこに黒ぼちで、8つ、現状と課題ということでございますが、そのうち2番目の、「夫婦共働きの増加や仕事の忙しさ」というようなところ、子どもに接する両親の時間が少なくなって、家庭の教育力の低下を来しているというようなところ、親子のコミュニケーションが不足しているという、そういうところをご意見いただいた内容で、追加をさせていただいております。

続きまして、その次、「かつて、子どもは地域社会で、自分の親以外の大人や異年齢の子どもと触れ合い、注意もされながら育っていた」というところがございます。こちらのほうにつきましても、隣近所の声のかけ合いが少ないとか、こういうご意見もいただきましたので、そちらを追加しているところがございます。

続きまして、3点目でございますけども、次の黒ぼち、「子どもの「遊び場」は、公園・空地・道路から室内へと移り、テレビゲームなどの遊びが増え、多人数で行う遊びが減少している」と。「子どもが、大人の管理を離れて自律して自由に遊ぶ場所も時間も少なくなる」というところがございます。こちらにつきましても、一人っ子が多いので、団体生活も必要というようなことから追加をさせていただいたところがございます。

続きまして、3ページのところでございます。千代田区における成果と課題という形で、こちらにつきまして、書き込みを追加させていただいております。千代田区における成果と課題が見えなかったというようなご意見もいただきましたので、その部分につきまして書き込みをさせていただいたところがございます。

まず、千代田区における成果というようにところで書かせていただいているところがございますが、中ほど、「一方」以下で次世代育成手当等、そういう手当等につきまして行っておりますというところがございます。

続きまして、その下には、「こども・教育部」を創設して、国の縦割り行政を一掃するような形の体制を作ったというところを続けております。

あと、下のほうでは、学校でのいじめ防止の早期発見・早期対応というようにところとか、セーフティ教室また安全・安心の「ちよだまちかど見守り隊」、メール配信システム等の取り組みにつきまして、記入させていただいているところがございます。

1枚おめくりいただきまして、4ページ目のところがございます。「加えて」というところで、「心理・医療等の専門家を巡回相談」等行っているところ、また、次の上でございますけれども、個別の支援を行っているようなところということを書き込みさせていただいております。

その次に、小学校における教科担任制の全校実施、在来中学校における全学年を対象にした少人数指導の継続実施等、今日ごらんいただいたようなところもございますが、そのようなところの対応を行っているということ

記入させていただいております。

そして、真ん中のところでございますけれども、学力パワーアップ教室というような形で、土曜日、日曜日にも行っているところもございます。そして、その次に、中等教育学校を設立して、こちらのほうを、特色ある中学校をつくり、一方、中学校の学校選択制も行っていますというようなことを記述させていただいております。

続きまして、真ん中から、「一方」ということで、課題のところを書かせていただいております。まず最初に、頭のところで、保育園待機児童ゼロ、これにつきまして、来年度、非常に厳しい状況の中で、待機児童が出ざるを得ないような状況があるという課題を書かせていただいております。

その次のフレーズのところで、格差社会ということで、社会的な格差のほう教育上の学力格差に反映されているようなところ、教育の機会均等という、そういうご意見をいただいたものを記入させていただいているところがございます。

その次の課題としましては、規範意識ということで、道徳、そういうものが非常に重要ではないかというようなところを書かせていただいております。

次のところでは、充実した生き方ができるようにということで、探究心、発想心、想像力など、幅広い確かな学力を定着させる教育活動を推進していくということが必要であろうという課題を書かせていただいております。

次に、「生きる力」ということでございますけれども、体力が人間活動の源であると、体力面で生きる力の重要な要素の1つとなるようなものについて、健康維持、意欲、気力というようなものも含めて、そちらについても自己管理を行っていくようなものも含めて、課題として書かせていただいております。

続いて、5ページのところでございますけれども、やはり、首都東京ということで、国際化、情報化の進展、ここについて力を入れていきたい、いく必要があるのではないかという課題がございます。

そして、最後に、九段中等教育学校につきましての課題を記載させていただいたところがございます。

続きまして変更点といたしまして、引き続きまして、6ページ以降、6、7、8ページ、グラフのところを、すこし見栄えを良くさせていただいたところと、7ページの一番下のグラフでございますが、保育園入園待機児童の発生が各年度当初、14年度から発生して、15年度から21年度までは発生してございませんが、22年度発生するようですと、こちらを書かせていただいております。

続きまして、8、9ページのところでございますけれども、こちらのほうもグラフを入れた、見やすくさせていただいたのと、9ページに特別支援学級の推移ということで、小学校、中学校、通級、固定級等の数字を入れさせていただいたところがございます。

続きまして、10ページ目のところでございます。10ページ目のところで、千代田区における教育の基本理念のところでございますが、少し離れたところに「共生とは」という形で、黒い、ちょっと小さい字でございますけれども、「すべての者が様々な違いや垣根を乗り越えて、お互いを理解し、認め合い、そして尊重し合う「共生」の理念のもと、家庭・学校・園・地域等が共に一体となって子どもを育て、また、自らも育っていくことを指す」ということで、「共生とは」ということを掲げさせていただきまして、四角の中、将来像という形で、明確に、「地域・家庭・学校（園）が子どもを共に育て、自らも育つまち千代田」という形で、改めてさせていただいたところでございます。

そして、最後の変更点は、34ページ、ちょっと飛びますけれども、34ページの基本的方向7の②の「安全・安心な次世代育成や教育環境を実現する」ということで、こちらのほうに、施設の整備ということで老朽している学校・児童施設の改修等を行い、環境整備を図るという形で記載のほうを追加させていただいたところでございます。

時間がなく、資料を事前に送付できなくて、申しわけございませんでした。この点につきましては以上になってございます。

今日、また、この日程表でございますけど、今日またご議論いただきまして、区民の皆様にご意見を並行して聞かせていただきながら、必要な修正を加えて、議案として今年度中に出させていただければと考えてございますので、よろしくお願いいたします。

市川委員長
副参事（特命担当）

はい。説明は以上ですか。

はい。ありがとうございます。

市川委員長

はい。ということで、前回のこの場における意見等についても一定の配慮をいただいて、変更をしていただいたと、こういうことですね。

副参事（特命担当）

はい。

市川委員長

はい。いかがでしょうか。

どうぞ。

教 育 長

中身は良いんですけど、この2ページ、3ページ、今回つけ加えた4ページですか、この辺、読みやすくちょっと、していただけると。ちょっと長文なので。

副参事（特命担当）

はい。私の説明も雑駁で申しわけございませんが、もう少し見やすく、成果と課題という形で調整して、記載をさせていただきたいと思います。

市川委員長

今、教育長からそういう発言がありまして、それは直していただくとして、もし、本日これで、特にもう、これ以上議論がないよということであれば、所定の方角に進んでもらいたいと思いますが、そのことを含めて、いかがでしょうか。どうですか。

もし、どうしてもということであればということで、前回、もう一回ぐらいいいかもしれませんという話があったんだけど、それはそういうことで、特段、これ以上もいいんじゃないかということであれば、そのように

	させていただきたいという話ですが。 これは、ちなみに諮るんですよね、諮ることだけは。
副参事（特命担当）	はい、議案として……。
市川委員長	議案としてね。ですから、私の言ったこと、ちょっとわかりづらかったかもしれませんが、次は議案として諮りたいと、こういうことでもしよろしければ、そのように取り計らいたいと思います。
副参事（特命担当）	委員長、先ほどちょっと申し上げましたけれども、区民の皆様からも多少ご意見をいただきたいと思います。どういう形になるか、例えば、ホームページにパブリックコメントみたいな形でご意見をいただくような形。それでご意見がいただけましたら、その分を修正した形で、最後、議案という形で提案させていただければと思っております。
市川委員長	なるほどね。 いかがですか。特段なければ……。
古川委員	いえ。2ページのところは、前回のよりも長くはなっていますが、私にはすぐ頭に入ってくる感じで、理解しやすいかなと思います。
市川委員長	はい。 それでは、特段ご意見がなければ、ただいまございましたように、近い時期に議案として提案をいただく、そういうことにしたいと思います。 本日の秘密会は以上で終了し、かつ、定例会も全部終了しておりますので、ただいまをもちまして本日の委員会を終了したいと思います。